

# 第26回日本臨床死生学会年次大会

## 「生と死をみつめる心、 生き抜くことに寄り添うために」

### WEB開催

#### ライブ配信

2021年10月2日(土)・3日(日)

#### オンデマンド配信

2021年9月20日(月)～10月10日(日)

大会長 浅野美知恵 (東邦大学健康科学部看護学科)

副大会長 奥野 滋子 (順天堂大学医学部緩和医療学研究室・医療法人長谷川会湘南ホスピタル)

参加費：会員¥5,000 非会員¥6,000 学生¥1,000 (要学生証提示) 一般参加¥2,500

### パンデミックの時代にどう「いのち」に寄り添うか

プログラム (予定)

### コロナ禍にある今だからこそ考えたいテーマを、今回特別企画としてお届けします。

特別企画◆1. 「孤独死あるいは閉じこもりの果ての死—その先に見えるものは?—」 飯森 眞喜雄

特別企画◆2. 「コロナ禍において進行疾患の治療を体験した家族・患者の危機的状況」

中村明澄、富塚真理子、上野山栄作

特別企画◆3. 「対談・パンデミックにおける医療と死生に関わる倫理」 窪寺 俊之、張賢徳

特別企画◆4. 「グリーフと向き合うということ」 垣添 忠生

特別企画◆5. 「AI 社会の到来と臨床死生学の役割」 小野 充一、ほか

特別講演「家族を生きるということ、自分の人生を生き抜くということ」 佐々木 常夫

教育講演Ⅰ「子どもの魂とあの世—儀礼・神話・昔話から」 古川 のり子

教育講演Ⅱ「誰が『死の安寧』を保証するのか」 小谷 みどり

教育講演Ⅲ「西洋美術における死の表現と死者への追悼」 小池 寿子

シンポジウムⅠ「死者への追悼とスピリチュアリティ」 谷山 洋三、宇津木 智子

シンポジウムⅡ「生まれること、命を生きるということ、支え合うこと」 寺口 顕子、木澤 晃代

シンポジウムⅢ「死をめぐる医療の展望について」 奥野 滋子、朝倉 輝一

大会長講演「生き抜く人のそばにということ」 浅野 美知恵

鼎談「生きること老いること病むこと死ぬことを支える社会について」 栃本 一三郎、本田 彰子、大西 秀樹

交流会Ⅰ 「生きづらさと命の原点を語り合う」

「シトラスリボンプロジェクトの意義と実践」 甲斐 朋香

交流会Ⅱ 「ターミナルケア、グリーフケアを語り合う」

大会企画 「質の高い研究論文作成について」 小野 充一

一般演題

本大会の参加はホームページからの  
事前登録のみです。

事前登録の締切は10月5日まで。

<http://www.jsct.org/26th/>



第26回日本臨床死生学会年次大会事務局  
〒113-0033 東京都文京区本郷2-17-13  
(有) エム・シー・ミュージズ内  
TEL.03-3812-0383 FAX.03-3812-0376  
jsct2020@mcmuse.co.jp